

かくだ市議会だより



第434回定例会

- 概要・質疑・討論 2
- 常任委員会・討論 3
- 議案審議結果 4
- 一般質問 5～10

角田市議会から

- 議会だよりアンケート 12

【今月号の表紙】『光の世界』

「光の回廊」かくだ田園ホール内が約1万5千個のLEDで幻想的な光の世界となり、美しい音色が響き渡りました。

《撮影》石原 三雄 さん

撮影日：令和7年2月9日 場 所：かくだ田園ホール

表紙の写真・イラスト等を
募集しています

令和8年5月1日号の応募は
3月10日（火）まで



詳細はこちら

12月
第434回
定例会

第434回定例会は12月4日から18日までの16日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の制定や一部改正、ふるさと納税寄附金の増加に伴う関連経費や野球場スタンド改修工事費の追加等の補正予算などの議案19件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、一般質問では、10人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

議案
第74号

角田市一般会計補正予算（第6号）

阿武隈急行線車両保存に係る基礎調査業務委託料

基礎調査の具体的な内容を問う。

引退する8100形車両を阿武隈急行株式会社から譲り受けて展示・保存・活用するため、関係法令の適合を専門的見地から調査・検討するものである。具体的には、設置候補地および利用方法ごとに、適合すべき法令と適合性の判断、不適合項目の整理と必要な措置の検討を行う。

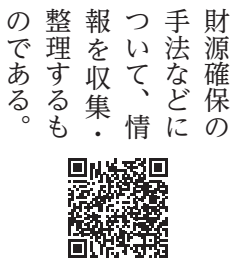


▲8100形車両

宇宙関連産業集積拠点形成可能性調査業務委託料

どのような業務内容なのか。

かくだ宇宙関連産業振興ビジョンに基づく集積拠点形成の実現可能性を調査するもので、宇宙関連産業の市場動向やニーズの把握、それらの分析結果から必要な施設の規模・設備・機能などの基本構想と長期的なコストを見据えた事業スキームや運営方式の検討、民間資本の活用を含めた財源確保の手法などについて、情報収集・整理するものである。



ビジョンの詳細はこちら

野球場スタンド改修工事費

工事内容について説明を求める。

観覧席のコンクリート床版約800㎡の撤去、撤去したコンクリートガラの運搬・処分、施工の際に必要な仮設通路の設置などが主な工事内容である。現在スタンドは、立ち入り制限をしながら安全対策を講じて利用いただいている状況となっている。



▲スタンドの亀裂



賛成
武藤広一

歳出の主なもの、ふるさと納税事業の増額、みやぎ県南中核病院企業団への追加負担金、（仮称）まちの賑わい創出事業実行委員会負担金、野球場スタンド改修工事費、職員人件費など、いずれも必要な予算措置を行うものであるため、賛成する。



反対
日下七郎

一級河川の阿武隈川水系小田川の河川敷となる赤生地区水路整備工事の竣工後の管理者が、宮城県知事なのか角田市市長なのか疑問が残る。また、派遣職員9人中8人分の年額4000万円の給与等を角田市が負担しているが、地方自治法の規定では派遣先の負担となることから、反対する。

議案
第84号

角田市一般会計補正予算（第7号）

ツキノワグマ被害防止放任果樹伐採業務委託料

対象要件（範囲）を市内全域でなく「人家や人の集まる場所に近しい所」とした理由は。

人身被害のリスクが高まっていることから、緊急的対策として人家に近い場所、市内にクマが出没する可能性がある地域とその周辺地域を対象とした。

この議案に注目！

議案
第84号

角田市一般会計補正予算（第7号）

全国的に問題となっているクマの被害ですが、角田市でも中山間地域などでツキノワグマの目撃情報が寄せられています。

1月5日から20日までの期間に、ツキノワグマ被害防止放任果樹伐採事業の申し込みが市役所で行われました。



▲申し込みの様子

※クマ対策関連の内容を11ページにも掲載しています。

条例審査

常任委員会に付託（議会の議決に先立って詳しく検討すること）された議案について審査が行われました。

議案
第69号

角田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

令和8年度から全国一律で実施される「こども誰でも通園制度」に関する基準に基づき、条例を制定するもの。

制度を利用する際、理由は問わずシステムで申し込みができる。本制度は、多様な子どもとの交流・体験、母親の育児不安の解消という側面もあり、必要に応じて母子通園も可能である。

利用料金はいくらか。

国の基準では1時間当たり300円と示されているが、施設によって異なる場合もある。

どのような利用形態となるのか。また、制度上、利用時間は月10時間までとされるのか。

申し込みは、子育て支援アプリ「ほっぺなび」から行うのか。

国の総合支援システムから、オンラインで行うようになる。

申し込みは、子育て支援アプリ「ほっぺなび」から行うのか。

国の総合支援システムから、オンラインで行うようになる。

申し込みは、子育て支援アプリ「ほっぺなび」から行うのか。

国の総合支援システムから、オンラインで行うようになる。

申し込みは、子育て支援アプリ「ほっぺなび」から行うのか。

こども誰でも通園制度は、保護者の方の就労要件などを問わず、0歳6カ月～3歳未満の保育所などに通っていないお子さんが、時間単位で教育・保育施設を利用できる制度です。

対象となるお子さんは？
○0歳6カ月～3歳未満の市内在住の未就園児

利用できる場所は？
○幼稚園や保育施設など

利用できる時間は？
○ひと月当たり上限10時間

利用料金は？
○1時間当たり基本300円（施設により異なる場合あり）

議案
第70号

角田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

「こども誰でも通園制度」を実施するにあたり、市の確認を受けた事業所が行う事業の運営に関する基準について、条例を制定するもの。

特定乳児等通園支援事業の「特定」とは何か。

制度を実施する事業所で、議案第70号の運営に関する基準に基づき、ふさわしい

どの程度の利用者を見込んでいるのか。

令和8年度の0歳児から2歳児までを279人として、そのうち制度の対象となる子どもを8人と想定し、10月に行った利用ニーズ調査の結果から、約7割の保護者が利用すると見込んでいる。

市内で制度を利用できる場所はあるのか。

11月に市内の教育・保育施設に意向調査を実施した結果、3事業所での実施意向を確認している。

認定を受けた事業所が、「特定」が付くこととなる。

事業実施に向けて、事業の周知や事業者の募集はどのように行うのか。

広報かくだ、ホームページへの掲載のほか、子育て支援アプリ「ほっぺなび」での周知を想定している。

認定を受けた事業所が、「特定」が付くこととなる。

事業実施に向けて、事業の周知や事業者の募集はどのように行うのか。

認定を受けた事業所が、「特定」が付くこととなる。

事業実施に向けて、事業の周知や事業者の募集はどのように行うのか。

認定を受けた事業所が、「特定」が付くこととなる。

事業実施に向けて、事業の周知や事業者の募集はどのように行うのか。

認定を受けた事業所が、「特定」が付くこととなる。

事業実施に向けて、事業の周知や事業者の募集はどのように行うのか。

認定を受けた事業所が、「特定」が付くこととなる。



反対
八島定雄

「こども誰でも通園制度総合支援システム」など制度そのものに問題がある。低すぎる価格設定と保護者負担額だけでは、事業経営の継続が困難となる。さらに、この制度の財源は、医療保険に平均月額700円から900円程度を上乗せするものであり、多くの国民に新たな増税を課すことになるため、反対する。



賛成
菅野マホ

「こども誰でも通園制度」は、今まで施設に入所していなかった3歳未満の乳幼児および就労していない保護者にも支援が届く、画期的な新しい制度である。制度を利用することで、保護者は子育ての助言を受けることができ、虐待を事前に防止することも期待される。当局の説明で十分理解し、賛成する。

一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行状況や将来の考えなどを質することです。質問は一问一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします。その他の質問の要約は掲載されておりませんので、各議員名の下の二次元コードを読み込んで、録画の配信をご視聴ください。

武藤 広一	日下 七郎	戸村眞喜夫	八島 定雄	柄目 孝治	瀧口 聖人	菊地 利衛	質問議員 （質問順）
「JAXAのある街」角田市・能代市と宇宙関連産業について	医療・介護に関することについて その他の質問 ・重点支援地方交付金（令和7年度補正予算案）について ・上水道事業に関することについて	角田市における中山間地域等直接支払制度の取り組み状況について 持続可能な角田型クマ対策の構築について	改定「教員給与特別措置法（給特法）」をめぐる教職員の働き方改革について	当市並びに市民を取り巻く諸課題・テーマに関し、市長の現時点における状況認識と取り組みの状況について	本市の「空き家」対策について	ダウンサイジング化は、まずは行政組織から市長への直通便に対する対応は丁寧にクマから市民の命を守るために	質問項目
9	8	8	7	7	6	6	頁

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末でライブ中継がご覧になれます。
また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。



角田市議会 映像配信

検索

第434回（令和7年12月）定例会

傍聴者数 2人

インターネットライブ中継視聴者数 延べ 241人

インターネット録画中継視聴者数

10月～12月 延べ 847人

齋藤 強	齋藤 克敏	星 隆悦	質問議員 （質問順）
市職員の労働環境等について 高齢者の方が安心して生活を送るために	放課後子ども教室について 地域貢献活動休暇制度等の推進と活用について	責任ある積極財政（角田市版）について その他の質問 ・商店街振興について ・阿武隈急行線地域公共交通計画（案）について	質問項目
10	10	9	頁

審議結果一覧

「○」は賛成、「×」は反対、「－」は退席又は欠席 議長（馬場道晴議員）は採決に加わりません。

提出者	議案番号	件名	審議結果 （賛成：反対）	会派一心			かくだ未来倶楽部			会派翔誠			日本共産党 角田市議員		無会派 （会派に所属しない議員）		
				菊地 利衛	渡邊 誠	戸村眞 喜夫	武藤 広一	星 隆悦	菅野 マホ	湯村 勇	瀧口 聖人	齋藤 強	日下 七郎	八島 定雄	齋藤 克敏	柄目 孝治	堀田 孝一
市	議案 第69号	角田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決 (12：2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案 第70号	角田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決 (12：2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案 第71号	角田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (14：0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第72号	角田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (14：0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第73号	角田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (14：0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第74号	令和7年度角田市一般会計補正予算（第6号）	可決 (12：2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案 第75号	令和7年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決 (14：0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第76号	令和7年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決 (14：0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第77号	令和7年度角田市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決 (14：0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第78号	令和7年度角田市水道事業会計補正予算（第3号）	可決 (14：0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長	議案 第79号	令和7年度角田市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決 (14：0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第80号	宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決 (12：2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案 第81号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決 (11：2)	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案 第82号	角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決 (11：2)	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
	議案 第83号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可決 (13：0)	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第84号	令和7年度角田市一般会計補正予算（第7号）	可決 (13：0)	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第85号	令和7年度角田市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決 (13：0)	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第86号	令和7年度角田市水道事業会計補正予算（第4号）	可決 (13：0)	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案 第87号	令和7年度角田市下水道事業会計補正予算（第4号）	可決 (13：0)	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



ダウンサイジング化は、 まずは行政組織から

菊地利衛



組織に向けて調査したい。
※組織を縮小すること

市長への直通便に
対応は丁寧

議員▼令和3年2月の市政運営方針で「例外なきダウンサイジング化※に取り組む」と市長は発言したが、市民サービスの影響が危惧される。市民の理解を得るため市の行政組織から実施すべきだ。人口が2万6千人を割った今、部制から課制へそして職制や組織を見直し、簡素で効率的な行政運営を目指す考えはあるか。

市長▼課制は、市長や副市長が課ごとに直接指示するため管理負担が急増し、課長の負担も増え、現場マネジメントなどがなされず連携不足が生じ、効率を損なうと考える。

議員▼山形県では人口4万人の寒河江市をはじめ7市、50%以上が課制である。職員数も少なく、行政組織も簡素なようだ。調査してはどうか。

市長▼現状では部制は必要だが、効率的な行政組

議員▼直通便は、市民が市長に直接意見を届けることができる数少ない手段であり、勇気を振り絞って投稿する貴重なものだが、苦情も散見される。内容はさまざまだが、どんな意見でも全て同じように丁寧かつ確実に対応し、最終的に市長も検証できる仕組みが必要である。

市長▼出沒情報は現地確認を行った上でかくだ安全・安心メールで、痕跡がある・見た場合には行政区長経由でチラシを配布するほか、新たに消防団の協力を得て警戒車両による広報を行う。

クマから市民の命を守るために

議員▼県内でも、クマの目撃件数・被害件数ともに過去最高と報道され、市内でも「クマらし

きもの」のメール発信が複数件あるが、本当にクマなのか、市民は半信半疑になっている。確認作業でクマの判別ができたら、結果を再度発信すべき。クマであれば、当該地区だけでも広報車を回すなど対策を講じるべきだ。

市長▼分かりやすい説明と簡単に行動がとれるような情報のあり方を研究していく。



本市の「空き家」対策について

瀧口聖人



計画の策定について、現在の進捗状況と「空き家バンク事業」の復活はあるのかを問う。

市長▼空家等対策計画の策定は、空家等対策を進める上で欠かせないもので、現在、庁内で総合的に検討するための体制整備を行っている。なお、令和8年度当初予算に、空家等対策に関連する予算の計上を予定している。

議員▼空家を賃貸住宅として再活用し、移住希望者や二地域居住者との

空家等対策に

※1 管理不全空家：そのまま放置すれば特定空家等に該当するおそれがあると市長が認める空家
※2 特定空家等：そのまま放置すれば倒壊など著しく危険なおそれのある状態または著しく衛生上有害となるおそれのある状態、著しく景観を損なっている状態にあると市長が認める空家等

マッチングを図る自治体が増えている。地域内の住宅不足を補うだけでなく、移住支援や子育て支援と連動させることで、定住促進や地域コミュニティの再生にもつながると思うが、見解を問う。

市長▼若い世代の定住に向け、結婚新生活を支援するため住宅取得費や家賃等の補助を行っているほか、子育て施策の充実を進めている。

空家家の賃貸活用と移住・子育て支援との具体的な連携のあり方は、空家家の実態や既存施策の効果も踏まえて、総合的に検討していきたい。



当市並びに市民を取り巻く諸課題・テーマに関し、市長の現時点における状況認識と取り組みの状況について

柄目孝治



〔近年予測が難しい気候変動（異常気象）による風水害被害に関して〕

議員▼気候変動による風水害被害、特に山間地域の土砂災害、阿武隈川・小田川・尾袋川などの越水懸念に関して、国や県とどのように対処してきたのか。進捗状況は、今後の道筋を市民に示して備えることが肝要と考えるが、見解を問う。

市長▼土砂災害は、国や県と連携し、今後も阿武隈川の氾濫対策としての河道掘削、堤防強化などを恒常的に行うほか、現在、県が堤防強化を進めている。内水氾濫は、早期に流域水害対策計画を策定し、ハード・ソフト一体の流域治水の実現に向け取り組んでいく。

議員▼流域治水の実現と

言うが、市民の目には見えない。市長はどのよう

に認識しているのか。

市長▼ハード・ソフト両面から速やかに対応するための計画は必要である。なお、今月末に知事に要望を行うほか、尾袋川・小田川流域の水害対策計画を令和7年度内に策定予定である。

議員▼4月以降、財政一億円を準備し、開業医師募集を行ったが応募はな

「小児科産婦人科医療体制に加え看護師など医療従事者不足による医療不安・保健不安に関して」

議員▼大変じくじたる思いである。地域医療の安全提供を確保する観点から「救急医療等連絡会」を「地域医療体制整備等連絡会」と再編し、小児科医誘致を含め、医療全体で検討し、可能性を

きもの」のメール発信が複数件あるが、本当にクマなのか、市民は半信半疑になっている。確認作業でクマの判別ができたら、結果を再度発信すべき。クマであれば、当該地区だけでも広報車を回すなど対策を講じるべきだ。

市長▼出沒情報は現地確認を行った上でかくだ安全・安心メールで、痕跡がある・見た場合には行政区長経由でチラシを配布するほか、新たに消防団の協力を得て警戒車両による広報を行う。

議員▼第一に、座して待っていても何も起こらない、第二に、医師確保の高いハードルは、県医師会や医局にもある、第三に、市内の既存病院に内科と小児科を併設するなど、市長の本気度が問われる局面と察するが。

市長▼持続可能な医療体制を整備するため、「地域医療体制整備等連絡会」の再編、医療コンサルタントによる現状や将来の見通しの分析、また小児科医誘致に向けたクラウドファンディングの実施、その寄附金の一部を原資とした基金創設を予定している。小児科のみならず角田市全体の医療が危機的な状況にある中で、医師の方々を膝を突き合わせ協力関係を構築していくべき、大きな課題だと認識している。



改定「教員給与特別措置法（給特法）」をめぐる教職員の仕事方改革について

八島定雄



議員▼教員の長時間労働問題を解決するため「給特法」が改定された。どのように受け止めているか。

教育長▼今回の改正はスタートラインで、まずは動き始めたことに一定の評価をするが、即、抜本的な働き方改革に結びつくとは限らない面もある。

議員▼附則第3条に「教員一人当たりの担当する授業時数を削減する」とあるが、見解を問う。

教育長▼過当たり授業時数を減らす考えは賛成する。教員一人当たりの担当する授業時数を削減する

当する授業時数を削減する

るには、年間総時数を減らすか、教員を増やすしかない。今後とも教員加配の増員を、宮城県教育委員会に求めている。

議員▼「主務教諭」を導入しない選択肢もあると考えるがどうか。

特別な支援を必要とする児童生徒へのフォローや、いじめ発見、丁寧な対応が困難となることがある。議員▼教員志望者が減っていると聞くが、率直な意見を問う。

教育長▼教員志望者が年々減少している現状は、強い危機感を抱いている。教職は、本来、子どもたちの成長に寄り添い、社会の未来を支える魅力ある仕事であるはずだが、その魅力が伝わっていない。ブラックと揶揄されるような業務が多すぎて、教職の一番の魅力である子どもと向き合う時間が確保できない職場環境が、若い世代に教職を選びにくいものになっている。教員としてのやりがいや成長実感よりも負担の大きさが先に語られる状況は、何とかしなければなら



角田市における中山間地域等直接支払制度の取り組み状況について

戸村 眞喜夫

議員▼国は、中山間地域対策のため、平成12年度から5年1期として中山間地域等直接支払交付金制度を創設し、山あい・傾斜地などの農業生産条件が不利な地域へ補助を行っている。角田市として今後、中山間地域等直接支払制度をどのように活用し、農業振興を図っていくのか市長の見解を問う。

持続可能な角田型クマ対策の構築について

議員▼今年、東北各地でクマの出没や人身被害が急増し、本市でも目撃情報が増えている。市民の安全確保は行政の最優先課題であり、市として持続可能なクマ対策の仕組みを早急に検討する必要がある。県が様々な市町村に貸与しているが、市は必要数を確保しているのか。

市長▼中山間地域での農業生産条件不利地域では、さらなる対策が必要と考えられており、制度を最大限活用し、農業者の方々が長く活動を続けて、地域コミュニティづくりに資するように市としても尽力していく。また、現場の要望を、同様の中山間地域を抱える自治体と連携を取りながら、東北農政局などを通して国に伝えていきたい。

市長▼県から1基貸与され、来年度1基購入予定である。今後、状況を調査しながら対応していく。議員▼山際や人里近くにある果実の成る木(柿・栗など)がある場合、県と協働で誘引木の伐採を検討しているのか。

市長▼農作物や人的被害防止のため緊急的に行う必要があると考える。議員▼市民への広報や注



医療・介護に関する事について



日下 七郎

議員▼みやぎ県南中核病院企業団の経営が困難なため、企業団の構成市町である1市3町(角田市・柴田町・村田町・大河原町)に追加負担金1億円が要請され、うち角田市分として2577万9千円が今期定例会の議案に計上された。追加負担金1億円の支出先とそれで経営が改善されるのか、またはさらなる追加負担金の要請があるのかを市長に問う。

している。

なお、今後の追加負担金は、中核病院の経営状況次第である。中核病院には、さらなる経費削減など赤字解消に向けた働きかけ、診療報酬の改定を含めた政府の対応にも注視していく。

議員▼仙南医療圏の角田市内の一般病院・診療所では、物価高騰により経営が困難していると推察する。そこで、国の令和7年度補正予算案「重点支援地方交付金・推奨事業メニュー(追加額2・0兆円)」の事業者支援⑦医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策の支援を実施する考えはあるか、市長に問う。

市長▼市内の医療機関も、診療報酬が物価高騰に追いつかず、大変厳しい状況にあることを確認している。市民の命と暮らしを守り、安心して医療サービスを受けることができる体制整備の構築のため、重点支援地方交付金による物価高騰対策支援を検討していく。

議員▼医療分野に対する予算額はいかほどか。

市長▼現在精査中である。企画デジタル課長▼角田市は、令和6年度に交付金を活用した医療機関などへ支援策を行っていないため、令和5年度の支援策を参考とし、併せて、県が行う予定の支援策の内容を参酌しながら、角田市としての程度対応できるかを整理している。



「JAXAのある街」角田市・能代市と宇宙関連産業について

武藤 広一

議員▼東北地方(能代市・角田市・南相馬市)で宇宙関連産業振興の広域連携に向けた検討を開始したとある。市は具体的に何を取り組むのか。

市長▼宇宙関連の実証試験環境や人材の不足、サプライチェーン構築などの課題を広域連携により取り組むため、現在、推進体制などを議論している。

議員▼能代市には、三階建てのサイエンスパーク・能代市子ども館があり、プラネタリウムをはじめ、年齢別に子ども向けの遊んで学べるスペースが充実している。市のスペースタワー・コスモハウスをリニューアルする考えはあるか。

市長▼施設改修の具体的な計画はないが、本市で令和8年の夏に「ポケモン天文台」が開催される

ため、来場者に喜んでもらえる企画を、能代市のアイデアも参考にしながら進めたい。

議員▼能代市では、宇宙少年団に活動経費等の支援をしている。角田コスモ分団を経営面でサポートすべきだ。

市長▼現時点での財政支援の予定はない。団体の自由な活動による発展を期待したい。

議員▼令和8年4月開所予定の「官民共創推進系開発センター」の進捗状況と市の関わり方やサポート体制を問う。

市長▼準備等は予定どおり進んでいるとJAXAより聞いている。市が直接的にサポートすることはないが、本市の宇宙関連産業振興の起点となるため、集積拠点の形成等も含めた官民共創推進系開発センターを活用しや



議員▼今期定例会議案の一般会計補正予算に、宇宙関連産業集積拠点形成可能性調査業務委託料がある。まだまだ未知数の部分が多いが、どのようなイメージを持ち角田を導いていくのか。

市長▼本市が持続可能な地域経済を実現するためには、主要産業である製造業のさらなる発展が不可欠で、現在進めている産業用地の確保に加え、新たな産業の創出による魅力ある就業機会の創出と、市内産業の多角化を図ることも重要と考える。官民共創推進系開発センターの運用開始を契機に、本市の強みを最大限に生かした「宇宙開発拠点のまち」として、特色のある産業振興を目指す。



責任ある積極財政(角田市版)について

星 隆悦

議員▼政府は、経済財政運営の柱で、「責任ある積極財政」を掲げた。

財政出動による安全保障分野への危機管理投資と先端技術への成長投資で経済拡大し、所得や事業収益を上昇させ、税率を上げず税収増実現を目指す政策で、具体的には、①日本の供給構造を抜本的に強化し強い経済を実現するため、所得を増やし、消費マインドを改善、事業収益を向上させ、税率を上げずとも税収を増加させる。②官民連携による戦略的な危機管理投資を柱とする。③複数年度にわたる予算措置・ロードマップを明示し、企業の投資・経済判断の予見可能性を高める。④17の重点投資対象分野を設定し、産業基盤・素材・設備・人材・インフラ等を強化、分野横断的

課題(人材育成、賃上げ、規制改革など)にも取り組むとある。

現在角田市では、来年度の予算案を策定中だが、角田市版「責任ある積極財政」も必要だと思う。経常収支比率は重視しつつ、投資成長も求められるが、令和8年度の予算方針、いわゆる角田市版「骨太方針」について問う。

市長▼当初予算編成方針は、第6次長期総合計画に掲げた「市民力・地域共生・地域資源フル活用」の3つのまちづくりの基本理念に基づき、重点事業に優先順位をつけ、限られた財源を配分している。歳入では、税収の確保に全力を挙げるほか、ふるさと納税などの税外収入の確保にも努め、歳出では、全ての事業をゼロベースから見直し、歳出削減に努める予算要求

を各課に求めている。議員▼予算編成方針は、例年と同じと思われるが、市長から特に指示した重点方針はあるのか。

市長▼第6次長期総合計画の前期計画期間が令和8年度で終わるため、「市民力・地域共生・地域資源フル活用」の3つのまちづくりの基本理念について、KPI※をPDCAで確認するなどして、予算を策定したいと考えている。



※Key Performance Indicatorの略称。組織の目標を達成するための重要な業績評価の指標を意味し、達成状況を定点観測することで、目標達成に向けた組織のパフォーマンスの動向を把握する指標のこと。



放課後子ども教室について

齋藤 克敏



議員▼放課後子ども教室は、全ての子どもが対象となり、安全・安心な居場所を提供し、学習、スポーツ、文化活動や地域住民との交流等、多様な活動機会を提供する事業である。本市は各地区に様々な伝統行事や地域の特色がある。小田地区の子どもくら太鼓や金津地区の金津七夕等は、多様な文化や地域の特色に触れる機会をつくる場としての機能も果たせるのではないかと。子どもが成長していく過程で、悩みや生きづらさに直面したとき、支えになる居場所の選択肢は多い方が望ましい。例えば、不登校や学校への行き渋りがある場合でも、孤立せず過ごせる場所があることは、子どもの健全な育成のために重要だ。子どもの放課後の居場所づくりにつ

いて、今後どのような取組を行っていくのか。

地域貢献活動休暇制度等の推進と活用について

議員▼総務省は、議会の審議を通じて住民の理解を得られれば、自治体の裁量で特別休暇を創設することが可能との見解を示した。地域活動の担い手不足が深刻化していることを背景に、地方公務員も地域の一員として公務以外での活動の参加を期待されている。地域貢献活動休暇制度の創設は、職員が地域活動の実態を知り、職員の人材育成や持続可能なまちづくりにもつながり、地域活動の担い手不足の課題にも一定の効果があるのではと考えるが、その取り組みを推進する考えはあるか。

市長▼導入事例を調査し、効果が相当大きいとの判断に至れば、前向きに考えていく。



市職員の労働環境等について

齋藤 克敏



議員▼昨年度の正職員の平均残業時間は。市長▼月平均13・6時間。議員▼残業が月100時間を超える職員がいる状況をどう感じているか。

市長▼仕事が偏らない対策などで時間内に終えることが基本と考える。

議員▼長時間労働が原因での精神疾患はあるか。

総務課長▼体調不良などの報告は受けていない。

議員▼残業を減らす取り組みはどうしているか。

市長▼デジタル化と業務の効率化、職員向けの研修を開催するほか、毎週水曜日にノー残業デーを設定している。

議員▼時間外労働を分析し、部課長会議などで定期的に議論しているか。

市長▼現状はしていない。

議員▼長時間残業している職員の面談などは。

市長▼健康管理対策実施要綱で、月100時間以上残業をする職員は、産業医が面接指導を行う。

議員▼勤務時間と開庁時間が同時刻だが、準備時間を確保するため午前8時40分開庁としては。

市長▼窓口時間短縮を行政改革として検討する。

議員▼市民を待たせるなどの支障はないか。

市民課長▼市民課では、当番制で準備をしている。

議員▼サービス残業は行われていないか。

市長▼職員は、事前申請により残業をするので無いと確信している。

議員▼令和6年度の退職者は何名であったか。

市長▼13名であった。

議員▼庁内でハラスメントの訴えや報告はあるか。

市長▼令和6年度に1件受け付けた。職員向けのハラスメント防止研修を毎年実施している。

議員▼高齢者の方が安心して生活を送るために

議員▼補聴器は大変高額である。生活に支障もあるため、補聴器購入助成

制度を創設すべきでは。

市長▼第10期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向け、補聴器購入助成を含めた聴力低下の取り組みを検討していく。

議員▼高齢者の車の運転についての取り組みは。

市長▼チャリ配布や高齢者交通安全教室の開催、高齢者運転免許自主返納事業による支援がある。

議員▼ペダル踏み間違い防止のため、後付けの安全運転支援装置の購入補助制度を設けては。

市長▼調査し検討する。

議員▼高齢化が進む中で民生委員の功績は大きい

が、ボランティア活動なので報酬を支給すべき。

市長▼大変な重責を担っているが、法により給与の支給はない。市では、社会福祉推進員に委嘱し、年間6万円支給しているが、法が実情にそぐわないと感じている。国にも働きかけていきたい。



角田市議会雑学

第434回（12月）定例会では、議案第74号にクマ対策5頭分を含んだ有害鳥獣駆除捕獲謝礼の補正予算が、議案第84号にツキノワグマ被害防止放任教樹伐採業務委託の補正予算が計上され、その内容について審議されました。

また、全議員による箱わなの確認や3人の議員がクマ対策に関する一般質問を行うなど、角田市において、クマ対策が喫緊の課題となっていることが伺えます。



▲箱わなの構造や重さを確認

議会日誌

10月	11月	12月	1月
17日 議会運営委員会 議会だより編集会議	17日 議会だより第234号発行 議会運営委員会 議会だより編集会議 議会だより編集会議 第434回定例会招集 告示 会派代表者会議 議員協議会 議会運営委員会 議会だより編集会議	3日 本会議（第1日） 会派代表者会議 議会運営委員会 議会だより編集会議 本会議（第2日） 本会議（第3日） 本会議（第4日） 議会運営委員会 本会議（第5日） 議会運営委員会 議会だより編集会議	16日 教育厚生建設常任委員会 行政視察（15日） 議会だより編集会議

ようこそ角田市議会へ

～行政視察の受け入れ～



▲議会運営委員会で説明を行っている様子

11月11日、秋田県能代市議会議会運営委員会の皆さんが「議員間の自由討議」について調査・研究を行うために来訪され、議会運営委員会（菅野マホ委員長）で受け入れを行いました。

ルール制定の経緯や実施状況のほか、全議員が共通認識として課題を共有でき、議会の活性化・議員の意識向上が図られる効果があることなどを説明しました。

また同日、福島県喜多方市議会広報広聴委員会の皆さんが「議会だよりモニターの取り組み」について調査・研究を行うため来訪され、議会だより編集会議（齋藤強会長）で受け入れを行いました。

実施に至った背景や読者である市民目線に寄り添った編集をすることができている効果があることなどを説明しました。

行政視察では、それぞれ活発な意見交換が行われ、本市議会としても大変貴重な機会となりました。

議会だより第234号（11月号）アンケート結果

アンケート結果の一部をお知らせします。（モニター8名）

Q 決算審査特別委員会に令和6年度決算のグラフや表を掲載していますが、わかりやすさはどうでしたか。

①とてもわかりやすかった 2人
②わかりやすかった 3人
③あまりわかりやすくなかった 3人
④わかりにくかった 0人

詳細は、市議会のホームページをご覧ください。



議会だよりアンケートを開始します

これまでの議会だよりモニター制度とあわせて、今号からアンケートを募集します。
アンケートは以下の5ステップだけで、簡単に回答ができます。

Step1

Step2

Step3

Step4

Step5



スマートフォン
などで上の二次
元コードを読み
取ります。



利用規約に同意しま
す。



5つの質問にご回答
ください。



入力した内容に誤り
がないか、最終確認
をお願いします。



上の画面になればア
ンケート完了です。
ご協力ありがとうございました。

議会だより
モニターを
募集します

任 期
活動内容
応募方法

令和8年4月1日から2年間（再任可）
「かくだ市議会だより」を読んで、アンケートに回答
3月10日（火）

※詳しくは本号の6ページと7ページの間にある募集案内をご覧ください。 応募フォーム



編集後記

私が考える「住みたいまち」「住み続けたいまち」というのは、日常の中にある「こうだったらいい」の実現によりつくられていくものだと思っています。

議会での一般質問や予算審議等の背景には、10年後、20年後の未来に向けてどんなまちづくりを行っていくか、という真剣な議論があります。目まぐるしく変化する時代の中で、解決すべき課題は山積みですが、本紙が市政をより身近に感じていただくための「架け橋」となり、皆様が未来のまちづくりについて語り合うきっかけになれば幸いです。ぜひページをめくってみてください。

議会だより編集会議

副会長 齋藤 克敏

2月定例会の予定 会期2月17日(火)～3月12日(木)

日	月	火	水	木	金	土
2/15	16	17 提案理由説明	18	19	20	21
22	23	24	25	26 常任委員会	27 質疑・自由討議 予算審査特別委員会	28
3/1	2 予算審査特別委員会	3 常任委員会	4 会派代表質問・ 討論・表決 予算審査特別委員会	5 予算審査特別委員会	6	7
8	9 予算審査特別委員会	10 一般質問	11 一般質問	12 最終日	13	14

※本会議（太字）は午前10時に開会します。

※本会議（太字）と予算審査特別委員会（青字）はライブ配信（生中継）を行います。

※日程は変更になる場合があります。